

# 第9回大雪山忠別湖トライアスロンひがしかわ 夏山。旭岳を背に快汗

8月2日、大雪山旭岳山麓の忠別湖周辺コースで、スイム、バイク（自転車）、ラン3種目を競う第9回大雪山忠別湖トライアスロンひがしかわ大会を開きました。全国から443人がエントリー、盛夏の湖畔を駆け抜けました。レース終了後、ゴール地の湖畔散策広場は選手交流の焼き肉パーティー会場に早変わり。参加選手は焼き肉、ジンギスカンに舌鼓を打ち、完走をたたえ合いました。各大会成績(25頁)参照

午前10時、一般の部374人、リレー11チームが湖面をめぐって一斉にスタートを切りました。

スタート時の気温はプラス23・9度快晴。湖面水温は、前日までの大雨でやや低めの7氏19・5度。湖水はやや透明度が下がっていましたが、北西の風は微風でさわやかなレース日和。

レースは、スイムでトップを取った福井貴弘さん(22) Ⅱ広島・海上保安大学校Ⅱと、6回目出場のリッパー・ジェスさん(37) ⅡニセコマルチスポーツⅡのデッドヒート。ジェスさんがバイク種目のコース途中で追い抜きそのままトップでゴールしました。女子は連続9回出場の沢田愛里選手(35) ⅡT×TガレージⅡが7連覇を果たしました。

## 出場6回目で初優勝、リッパー・ジェスさん

ニセコで不動産会社を営むリッパー・ジェスさん(37)は6回目の出場

場で見事優勝を手に。ゴールでは家族そろって迎えを受けました。



バイク種目でトップ逆転したリッパー・ジェスさん(周回折り返し地点で)

「昨日までは暑があつて体調はよくなかった」というジェスさん、レースが進んで体がほぐれるにつれて本来の力を発揮し、スイムで先行していた福井貴弘さん(22)を追い抜くと、その勢いのままゴールイン。

## 「坂が苦手です…」と逆転準優勝となった福井さん

福井貴弘さん(22) Ⅱ広島・海上保安大学校Ⅱは、6月に開催した第7回ハワイトライアスロン優勝(鳥

取県)で学生選手権優勝、総合3位という好成績を引っ提げて出場。総合優勝を狙っていましたが、しかしバイク種目の苦手の登坂で後続に追い越され、惜しくも2位に。「後ろから来ているのに気が付かなくて…。もうちょっとだったけれど」。



惜しくも優勝逃した福井さん

「コースは割と走りやすかった。次はイン・カレ(8月30日、日本学生トライアスロン選手権観音寺大会)に出場予定なので、次頑張ります!」。

## 沢田愛里選手、9年連続出場で女子の部7連覇

初回から連続出場を更新し続けている

部以来、今年は過去最大の出場数。部員数が過去最大40人になり「1年生にとつては初の大会出場の場。イン・カレ大会予選と位置付けているので…」と登竜門の大会として格好のコースだそう。

## 富田さん親子、今年は3人で



親子で出場、富田広昭さん(左)、初出場で小学生高学年の部男子2位の絺生君(東川小5年、東川XC少年団)中学生の部男子6位の征樹君(東神楽中2年)、友達の石原徳君(東川小4年)=左から2番目=

町内から4回目出場した教員、富田広昭さん(44)は、2年ぶり2回目出場の長男、征樹君(東神楽中2年)と初出場の二男、絺生君(東川小5年、東川XC少年団)とともに、親子3人でゴールの醍醐味を味わいました。絺生君は、ジュニア部門小学生高学年の部で2位入賞を飾り、征樹君は中学生の部6位。



9回連続出場の館山孝さん(右)は家族の応援で完走

取ったんだ。今年はこの部分はよくなったけれど、スイムからバイクに移るトランジションで砂を落とすのに手間取ってしまったと悔しい結果だったよう。父広昭さんは、息子2人の健闘に励まされてゴール。「スイムで40分以上かかってしまい遅くなった。35分ぐらいでいけるはず」と来年のタイム更新を誓っていました。

## 館山さん、初回から連続9回出場

「この大会はすごく思い出のある大会なので」と初回から9回連続出場の稚内市在住、館山孝さん(45)は、浜頓別町で開催したオホーツク100キロマラソン大会に出場し前週に引き続きの大会出場。家族の声援を受けて余裕のゴールを果たしました。

## 青野3兄弟、今年も健在

上富良野町の青野3兄弟は今年もジュニアの部でそろって上位独占。連続8回出場の兄、亜斗夢君(15) Ⅱ上富良野中学3年Ⅱは、ジュニア中学の部出場の3年間を3連覇という快挙で飾りました。

「弟がバイクで抜かしてきて抜かれそうになったんで、追いついて抜いてやったよ」。弟の叶夢君(13) Ⅱ上富良野中学1年Ⅱにはまだ負けるつもりはないようです。

その叶夢君は、池辺君に30秒遅れの3位入賞。三男の挑夢君(11) Ⅱ上富良野小5年Ⅱは昨年より順位を一つ上

る沢田愛里選手(35) ⅡT×TガレージⅡが今年も元気な姿をレースで披露してくれました。



女子部門で7連覇した沢田愛里選手(バイク周回2週目折り返し地点で)

7連覇で女子の部優勝を飾り「きつかった」とゴール後開口一番。「スイムで意外に疲れた。今年はコースが3周回になって周回遅れの人に乗ってしまったりと体力を消耗し、スイムでは半分遅れの2位と出遅れ。女子トップに立ったのは、バイクで追い抜いてから。冬から一緒に練習してきたという廣瀬允也さん(32) Ⅱ札幌市役所Ⅱと健闘をたたえ合いました。

## 北大トライアスロン部、「北大ちゃんげ」大挙出場

北海道大学トライアスロン部「北大ちゃんげ」は、今年一挙27人も出場しました。OB出場者も含めると、31人にも上る大所帯。

マネジャーの西野美樹さん(3年)によると、2002(平成14)年の創

げて小学生高学年で総合3位(男子1位)に入賞しました。



今年もジュニア連覇した青野亜斗夢君(左)と2位池辺刀那君は2年連続で1、2位独占

昨年が続いて2年連続出場で連続2位となった池辺刀那君(15) Ⅱ美瑛中学3年Ⅱは、冬のクロスカントリースキー競技が本命だそう。次はツールド北海道の美瑛コースで市民レースにも出場するつもり。体力強化に励んでいます。



◇コース(忠別ダム湖と湖畔の一般街道を周回する特設コース)

▼ジュニア ①スイムⅡ中別湖畔(親水広場)50分(1、2年、100分(高学年、中学生) ②バイクⅡ親水広場周辺の町道2.5分(1、2年生)・同4.7分(高学年)・6分(中学生) ③ランⅡ500分(低学年)・千分(高学年)・二千分(中学生)  
▼一般コース ①スイムⅡ5分(1周0.5分×3周回) ②バイク40分(町道折り返し3周回) ③ラン10分(町道折り返し3.5周回)